

WRAYCAM®

USBカメラ WRAYCAM CLシリーズ



I. 安全に正しくお使いいただくために

- ◆高温・多湿の環境での使用は避けて下さい。
- ◆カメラの撮像素子表面を手などで触ったり拭ったりしないでください。
- ◆外装の汚れやゴミの付着には、有機溶剤を避け、汚れがひどい場合は希釈した中性洗剤を柔らかな布にわずかに含ませて拭いてください。揮発性溶剤や研磨剤入りのクリーナーを使用しないでください。撮像素子へのゴミや汚れは、必ず直接触れない方法、例えばエアブロー等を用いてほこり・ゴミを取り除いて下さい。撮像素子は大変デリケートなものですので、厳守していただく様にお願い致します。
- ◆各部を分解することは故障の原因となるので絶対に避けてください。

II. USBカメラと付属品

下記の付属品がすべてそろっているか確かめ下さい。



WRAYCAM



USBケーブル



ACアダプタ



CD-ROM

III. 顕微鏡への取り付け

カメラ内部にホコリなどが入ると、出力された画像にゴミが映り込むことがあります。カメラ内部に埃やゴミが入らないようにするため、キャップやCマウントリレーレンズの着脱時にはカメラの口を下方に向けて行って下さい。また、カメラ内部が開放されないよう、未使用時はキャップをするようにしましょう。



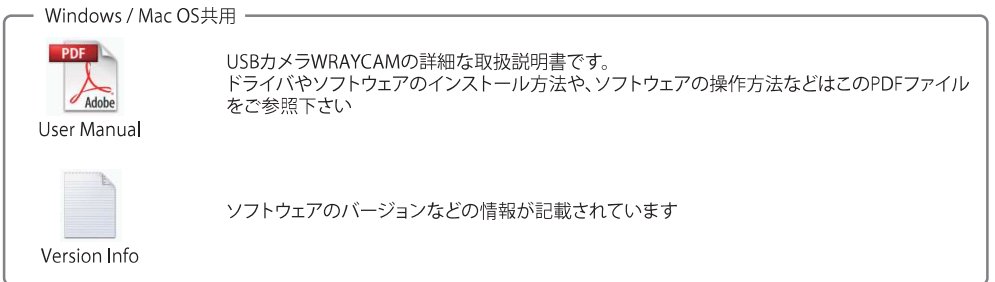
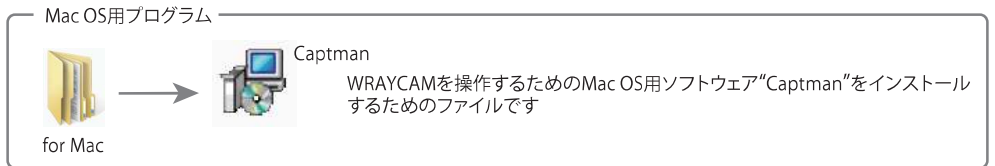
IV. WRAYCAM用プログラムのインストール

推奨動作環境は以下の通りです。

	Windows	Mac
CPU	Pentium 4 - 2.6GHz以上	Core i5 - 2.3GHz以上
OS	Windows XP / Vista / 7 / 8 / 8.1 (それぞれ32bit版、64bit版に対応)	Mac OS X Lion / Mountain Lion / Mavericks / Yosemite
メインメモリ	512MB以上	4GB 1333MHz DDR3以上
ハードディスクの空き容量	1GB以上	1GB以上
その他	USB2.0ポート標準装備、CD-ROMドライブ	

※注意 増設USBインターフェイスボードを使用した場合の動作保証は致しません。
自作パソコンや、OSをアップデートしたパソコンは、動作保証外です。

◆付属のCD-ROMについて



◆ドライバおよびソフトウェアのインストール

大まかな手順は以下の通りです。詳細はCD-ROM内のUser Manual (PDFファイル)をご覧ください。

Windowsの場合

1. ドライバのインストール
2. 再起動
3. WRAYCAMをパソコンのUSBポートに接続してドライバのインストールを完了させる
4. ソフトウェア “WraySpect” のインストール
5. ソフトウェア “WraySpect” の起動

Mac OSの場合

1. ソフトウェア “Captman” をアプリケーションフォルダにドラッグしてコピーする
2. ソフトウェア “Captman” の起動

WRAYMER

株式会社レイマー

〒541-0052 大阪府中央区安土町 1-8-15 野村不動産大阪ビル 6F

TEL : 06-6155-8230 FAX : 06-6155-8450

E-mail : arch@wraymer.com

Online Shop : <http://www.wraymer.com>